

奇蹟：巨人マハティール

曾野綾子さん風に表現すると、任期を全うする可能性の低い人は立候補するべきではない・・・これは市川房江さんの立候補に対し、批判したものである。しかし、92歳のマハティールに関しては、マハティール自身が、2年間と期限を設定し、15年前のクリントンの薄汚い策略に敗れ去ったことに当てつけのように立候補したもので、しかも当選するというのは、現政権の腐敗があまりにひどすぎるからだろう。ちなみに、日本の外務省は、クリントン様べったりであった。APECを作り、クリントン様に褒められたことを自慢している、恥ずべき官僚たちである。・・・そして最近、その欺瞞性があからさまになって、(障害者を一定数雇用する義務を誤魔化していた。必要な人数の半分にも満たないという恥ずべき行為である。)日本中から非難されている。さすがの日本人も、恥を忘れてはいない、ということらしい。

マハティールが復権した最大の理由が、かつての「日本なかりせば」を補うものである。

今、なぜか習近平の一带一路が、金のバラマキによって貧困国に対し優位にたとうとしている。動かないのは、日本と米国である。

一帯とは、かつてのシルクロードを再開発し、陸路、中東やうまくすれば東ヨーロッパまで傘下におさめようと経済戦略をうちだしているものである。陸路でいえば、マレーシアの一部に鉄道を建設し、南シナ海とマラッカ海峡とをできるだけ短時間でつなごうとするものである。マハティールの再登板は、前任者の中国マネーに唯々諾々として許可していたものをひっくり返すものである。・・・考えてもみよ。新幹線の事故を隠すために(実際には世界中が知っているが)埋め立ててしまうような技術でである。インドシナ半島など、その被害者である。

一路とは、海路、インド洋からアフリカまでをもその経済圏に包含してしまおうとするものである。スリランカなど、赤字のために港を99年かの租借を余儀なくされているし、パキスタンも赤字で身動きできない。事実上破産している。マハティールはすべてを読んでいる。だから、赤字でこれ以上の計画は執行できない、とことわるのである。マハティールは、華僑をいわゆるボート・ピープルにして追い出した、日本軍が侵攻したとき、自転車を用意して、銀輪部隊と称し、ジットラ要塞を1日で陥落させ(パーシバルは、これだけでも1か月は持つだろうといった。)・・・93歳でも、背筋がピンと伸びて、日本軍人を彷彿させる。一方、日本ではどうか。沖縄の知事など、事実かどうかたしかめたわけではないが、偏向の2大新聞にあとおしされ、中国マネーとともに

中国べったりの政策をとり、臣下にあるごとく、建物を作り、中国に隷属しようとしてきた。アホッ。いったん中国の属領になったら、いまのように言いたいことも言えず、単なる奴隷になることがわかっていない。ウイグル自治区、チベットをみるまでもない。……かれらの移住は、日本人の移住と異なり、初めは少数かもしれないが、そのうち、何百万人の単位で移住してきて、アメリカがメキシコからテキサスやカリフォルニアなどを掠奪したのと同じ方法で、自国化するのである。このとき、「大地の咆哮」にあるように、さまざまな方法を仕掛けてくる。

村山トシ吉は、謝罪行脚に際し、「アジア諸国を侵略し……」と言った。歴史を知らない。マハティールは、これを窘めて、日本こそが東南アジアの盟主に（「日本なかりせば」）ならねばならない、と語った。そもそも、日本は、ルーズベルトの陰謀により、自衛戦争を強いられた。やむなく、資源を南方に求めざるを得なくなった。アジアを侵略したのではなく、イギリス、フランス、オランダの植民地であったインドシナ半島や、マレーシアやインドネシアを、植民地の桎梏から解放しただけである。……だから、今でも日本なかりせば、東南アジアの植民地の解放はできなかったことを覚えている。

それにしても、93歳のマハティールを見ていると、現在、世界中が注目している安倍晋三首相の戦略眼、外交などの活躍をみれば、「据え置きの総理大臣」でもいいのではないか。あとを考えてごらんよ、石破ですか、まだ麻生さんの方がいい。野田など、女というだけで、実際、南シナ海の話や中国とIT合弁を模索したり、その他にも不都合な話がいくらでもでてくる。わずか20人の推薦人もあつめられない。では、小泉進次郎ですか？ こんなもん、世界に出て行ったら、洩もひっかけられないし、なにせ実績がない。人気投票ではない。経済はガタガタになるだろうし、これは石破も同じ。石破など、拉致被害者の奪還に際し、何の役にも立たなかった。自衛隊では、すべての自衛隊員にきらわれ、これで、国防ができるのでしょうか。獣医学部新設では、政治資金をもらっていて、安倍さんの邪魔ばかりしている。……この稿、続きます。

2018.08.30